

今月の技術対策 (水稻編)

留萌農業改良普及センター

TEL : 0164-62-1779 FAX : 62-2474

E-mail : rumoi.nakanoukai1@pref.hokkaido.lg.jp



畑作・園芸編も
HPで公開中!

1 5月の気温は高い予報

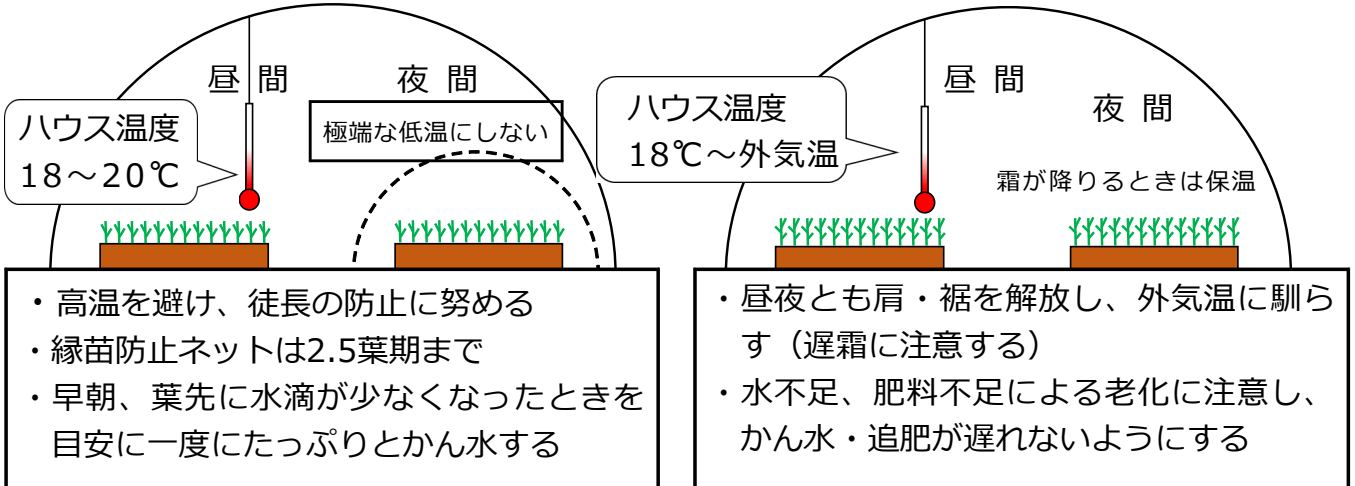
今春は、融雪が早く好天に恵まれたため、苗床が良く乾燥して地温も上がっていました。播種後は一時的な低温もありましたが、苗の生育は概ね順調となっています。長期予報では、5月の平均気温が高い予報となっているので、苗が徒長、老化しないように注意しましょう。

2 1.5葉期以降の育苗管理

(1) 育苗管理の概要

1.5葉～移植1週間前

移植1週間前～移植



(2) 追肥

- ア 追肥は中苗で2回行い、成苗ポットでは原則必要ありません(表1)。
- イ 目標葉数に達しても移植できない場合は、追肥を行い老化防止に努めましょう。
- ウ 追肥後は、肥料ヤケ防止のため必ずかん水して下さい。

表1 育苗時追肥量(中苗マット) ※成苗ポットで追肥する場合は中苗マットの半量として下さい

追肥時期	窒素量	肥料名(例)	1回あたりの施用量	
			箱あたり	坪あたり
・1.5葉期 ・2.5葉期 の計2回	1.0g/箱 (追肥1回 あたり)	NP化成57	7g	120g
		硫安	5g	90g
		苗床液肥	100倍液を0.5ℓ	100倍液を9ℓ

(3) 早期異常出穂対策

早期異常出穂は2.5葉期以降に25℃以上の高温にさらされると発生が助長されます。**高温となりやすい育苗後半の温度管理には、特に注意しましょう！！**

(4) 健苗の移植を！

適切なハウス管理により目標の苗質を満たした健苗の移植を目指しましょう（表2）。

表2 移植時の目標苗質

	品種	成苗ポット	中苗マット
目標葉数	ななつぼし	3.6~4.0葉	3.1~3.5葉
	ゆめぴりか	3.6~4.3葉	
	もち品種	3.6葉~	
草丈	-	10~13cm	10~12cm
育苗日数	30~35日		

3 移植・本田管理

(3) 施肥後はできるだけ速やかに混和・たん水を行い肥料の流亡を抑えましょう（施肥後10~14日で流亡が始まります）。

(1) 移植作業は低温・強風日は作業を見送り、気象条件の良い日に移植を行いましょ。

(2) 活着・分けつ促進のために植付深は1.5~2.0cmを目安に移植しましょ。

(3) 移植後は速やかに入水し、以降は気象条件に応じて水深を調整しましょ（表3）。

(4) 除草剤散布後の止め水は7日間保ち、河川への流出を防ぎましょ。

表3 移植後の水深の目安

	移植直後	移植直後~活着まで		活着後
天候	-	高温・晴天	低温・曇天・強風	高温・晴天
水深	4~6cm (苗丈の1/2)	2~3cm (浅水)	7~10cm (草丈の3/4)	3~4cm (浅水)
備考	やや深水で管理	浅水で活着・分けつを促進	深水で低温・強風から苗を保護	高温・晴天日は浅水で分けつを促進
	日中は止め水にし、入水は夜間か早朝に行う			

移植時の苗を確認！（近年確認されている苗の不調）

- ① ばらつきが大きい → 浸種温度が低い
- ② 徒長している・根張りが悪い → 育苗前半（1.5葉頃まで）の灌水過多
- ③ 葉数が目標より多い → 育苗期間が長い、育苗期間の温度が高い
- ④ 鞘葉や1葉目が黄化 → 肥料切れ（追肥の実施）
- ⑤ 2葉目の葉身が黒っぽい → リン酸過剰症（土壌診断、置床施肥の見直し）
- ⑥ 葉鞘や葉身に褐色の筋 → 褐条病（催芽時の食酢処理をする）

忙しい春作業こそ、作業内容の確認、安全の点検をしっかりと！